

改訂まんなかビジョン骨子（案）修正について

1. 前回のまんなか懇談会意見の方向観

前回のまんなか懇談会における骨子(案)に対する意見概要を以下の通り。

これらの意見を踏まえ、骨子(案)の修正をおこなった。

【意見概要】

- ・ 社会的潮流や中部の特性を踏まえた内容構成
- ・ 総花的な印象がある
- ・ 全てを同じ力配分で同時に進めることは困難

【論議すべき事項】 今回の修正で考慮

- ・ 中部の独自性が見えるビジョン
- ・ 当面の成長戦略と「選択と集中」の明確化
- ・ 国際的、地理的な自立戦略を検討
- ・ 住民、企業の果たすべき役割を問うべき
- ・ 記載内容の簡潔化、明確化

2. 修正事項の概要

(1) 前回提案した骨子(案)〔H19.3.12〕の修正事項

- ・ まんなか懇談会の意見、フォローアップ会議メンバーからの意見等を踏まえて、以下の6項目について修正をおこなった。
 - 改訂趣旨を説明する前文(「はじめに」)を追加
 - 骨子の記載内容を簡潔にするため単文化
 - 政策(5本の柱)の方向性を示す「目指すべき将来像」の修文
 - 各政策の解説文の修正(従前の「解説文」と「私たちの目指すべき地域像」を統合・整理し、要旨を明確化)
 - 具体的な目標の再編
 - 不足している施策等の追加や重複記載箇所の整理整頓

(2) 追加提案(前回骨子(案)からの追加事項)

1) 中部地方の戦略(選択と集中)と将来像

- ・ 現行の「まんなかビジョン」は、「中部国際空港の開港」と「愛・地球博の開催」の2大プロジェクトに主眼をおいた内容としていた。(選択と集中)
- ・ 次期ビジョンは、中部の独自性のある戦略的な地域づくりを進めることに主眼をおいて、5つの政策テーマ(安全・安心、産業競争力、環境・景観、交流・連携、暮らし)を設定。
- ・ 「選択と集中」の考え方として、10～20年間で実施する5本の政策の全体量は変えないが、当面10年程度で注力(先行投資)すべき政策を明確化し実行することが、10年後以降の次のステージにおいても、中部地方の持続発展がより強固なものとなる方向感を提案。
[懇談会資料3 16ページ参照](#)

- ・ また将来像は、一般にわかりやすく、記憶に残るフレーズであることを重視し、簡潔な表現とした。
なお、将来像のフレーズ案については、今後改訂ビジョン策定までの検討事項を踏まえ、必要に応じ修正していく。

2) 具体的なプロジェクト(案)の追記

- ・ 5つの政策の柱ごとに示した「具体的な目標」の達成に向けて、当面5カ年程度で実施する取り組みを「具体的なプロジェクト(案)」として追加した。
- ・ よって「具体的なプロジェクト(案)」はできるだけ厳選し、集約的にした16プロジェクトを提案。

3) 住民・企業・行政の役割の明示

- ・ 「まんなかビジョン」の実現に向けた住民・企業・行政の役割について明示することとし、骨子ではその「あり方」を提示することを提案。

[懇談会資料3 15ページ参照](#)